

## 議 事 録・報 告 書

会議名	令和3年度 第8回理事会				
開催日時	令和3年12月24日(金) 18:30~20:00	開催場所	横浜市技能文化会館 8階 801会議室		
出席者	会長 大内 幸敏 副会長 田島 隆人・伊藤 今日一 理事 江川 俊幸・引地 利昭・松尾 清邦・富安 恭子*・金岩 清雄 津久井 達人*・前原 善昭・吉田 篤史*・渡邊 浩*      *Web参加 監事 安部 真・佐藤 英俊 相談役 山崎 尚人 欠席者 理事 安藤 聡志・木本 大樹				
議長	大内 幸敏	議事録採集者	金岩 清雄	議事録署名人	大内 幸敏 安部 真 佐藤 英俊
議 題	(項目のみとし、審議内容及び結果について、2号用紙に記入のこと)				
1	1. 前回理事会議事録の確認について				
2	2. 報告事項 2-1 会長報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度神奈川県診療放射線技術講習会 11月21日(日)</li> <li>・神奈川県医療専門職連合会理事会 11月24日(水)</li> <li>・第68回関東支部研究発表大会 11月27日(土)~28日(日)</li> <li>・令和3年11月拡大四役会 12月14日(火)</li> <li>・令和3年度神奈川県民医療推進会議(WEB会議) 12月17日(金)</li> <li>・神奈川放射線学術大会実行委員会 12月22日(水)</li> <li>・その他</li> <li>・県会員の動向</li> </ul> 2-2 業務執行状況報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会報告</li> </ul>				
3	3. 審議事項 3-1 令和4年度事業計画 3-2 令和4年度予算案 3-3 第19回神奈川放射線学術大会 3-4 神奈川県との災害時医療救護活動の協定書 3-5 会費納入規程の見直し 3-6 その他				

## 2021-12月理事会 その他報告事項

1. 公益社団法人神奈川県栄養士会 2022 新年賀詞交歓会開催中止のお知らせ 【(公社)神奈川県栄養士会】
2. 令和 4 年度調査研究助成金交付対象研究募集について 【神奈川県公衆衛生協会】
3. 令和 4 年賀詞交歓会の開催中止のご案内 【(一社)神奈川県臨床検査技師会】
4. 静岡県放射線技師会事務所メールアドレス変更のお知らせ 【(公社)静岡県放射線技師会】
5. 第 18 回神奈川県放射線学術大会への後援依頼について(回答) 【(公社)日本診療放射線技師会】
6. 第 17 回がん克服シンポジウムの開催について(ご案内) 【がん克服シンポジウム実行委員会事務局】
7. 神奈川県民医療推進協議会における決議の送付について 【神奈川県医療推進協議会】
8. 告示研修(実技研修)の動画 DVD の送付について 【(公社)日本診療放射線技師会】

### \*回答が必要な文書

1. 「新年文化講演会」のご案内 【神奈川県保険医協会】 1/14ㄨ切
2. 法人設立 25 周年・本会創立 50 周年記念式典 記念講演会のご案内 【神奈川県理学療法士会】 1/7ㄨ切
3. 神奈川県民医療推進協議会の開催について(依頼) 【神奈川県民医療推進協議会】 済
4. 令和 3 年度第 3 回理事会(書面審議)の開催について 【神奈川県公衆衛生協会】 済
5. 「日本医療マネジメント学会第 21 回神奈川県支部学術集会」に対する後援名義使用の許可申請について  
【日本医療マネジメント学会第 21 回神奈川県支部学術集会】済
6. 「よこはま乳がん学校(第 11 期)」開催に伴う後援名義使用について(依頼) 【よこはま乳がん学校】済
7. 2021 年度 第 1 回学術委員会(書面審議)について 【神奈川県病院協会学術委員会】済

議題番号	報告事項 ・ 審議事項	
議題 1	令和3年11月理事会の議事録確認について 大内会長) 承認よろしいでしょうか。特に訂正箇所がありませんので承認します。	承認
議題 2 2-1	<b>報告事項</b> <b>会長報告</b> ○ 神奈川県医療専門職連合会理事会 栄養士の事務所にてハイブリッド会議を行いました。 ○ 第68回関東支部研究発表大会 横須賀で開催され来賓として挨拶しました。 ○ 令和3年度神奈川県民医療推進会議 県医療団体が診療報酬に関する決議案を提出し承認されました。 ○ 県会員動向について 11月30日現在、会員1521名、賛助会員36社 会費免除申請5名の承認をお願いします。 ○ 神奈川県保健衛生表彰 吉田理事が受賞されました。 吉田理事) この度技師会から推薦して頂き表彰頂きました。皆様と一緒に活動した事が評価されたと思います。皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。	承認
2-2	<b>業務執行状況報告</b> <b>1. 総務委員会</b> <b>江川理事より報告 P5～</b> ・総務委員会を12月15日にWEBにて開催しました。議事録をご確認下さい。 ・来年度に役員選挙があります。令和4・5年役員立候補受付について会誌1月号に告示として掲載予定ですが、案として説明会と受付期間、総会の開催日程を記載させて頂きました。審議をお願いします。 津久井理事) 日程等を確定した本原稿を1月4日までに提出頂ければ、1月号の掲載は大丈夫です。 大内会長) 総会開催日ですが5月27日が通常開催日なので、これで進めて下さい。ご承認頂けますか。 江川理事) 引地理事何か追加ありますか。 引地理事) 特にありません。  <b>2. 財務委員会</b> <b>伊藤副会長より報告 P9～</b> ・11月分の残高試算表Aですが現金通帳預金は資料のとおりです。 ・収入の部として当月は正会員費32万円、賛助会員費2万円が入金されています。会費納入状況は76.8%の納入率となっています。 ・支出の部として管理費含め特に大きな支出はありません。  <b>3. 組織委員会</b> <b>松尾理事より報告 P17～</b> ・委員会は開催しておりません。 ・委員にはJARTアンケートの協力依頼をしています。 ・次号かながわ放射線だよりの担当は湘南地区と西湘地区です。  <b>4. 学術委員会</b> <b>引地理事より報告 P19～</b> ・令和3年度神奈川県診療放射線技術講習会の第2回開催報告について資料をご確認下さい。午前210名午後162名の参加でした。 ・第3回技術講習会は1月16日に開催します。資料記載の委員スタッフで対応します。新型コロナウイルス対応と救急に関して聖マリアンナ医科大学の松本	承認

	<p>先生に講演頂く予定です。皆様参加よろしく申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月と3月開催の実践セミナーについて、開催案内を作成しました。会誌1月号に掲載をお願いします。</li> <li>・実践セミナーの講師料について内規に則って講師料を算出しました。審議をお願いします。</li> </ul> <p>大内会長) 基準に則った講師料です。ご承認よろしいでしょうか。 引地理事) 富安理事何か追加はありますか。 富安理事) 特にありません。</p> <p><b>5. 渉外委員会</b> <b>金岩理事より報告 P27～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度イベントの相模原市民桜まつりですが、4月2日と3日に予定しています。理学療法士会との合同でのブース参加を予定していますが、会場の同じ部屋で出来なかった場合は別々での参加となります。個別参加の場合は参加費を折半せず8千円となります。</li> </ul> <p>イベント内容は、乳がん検診啓発活動、骨密度と血管年齢測定、被ばく相談です。理学療法士会は健康体操などです。 理学療法士会と合同で参加する為、2年前と同様に協定書を締結する必要があります。また共催申請書を提出する事になると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原市子育て支援フェスティバルですが、5月29日に予定しています。2年前の前回イベントでは協賛金1口1万円を支払いました。おそらく今回も協賛金の要望があると思います。まだ申込書は届いていません。</li> <li>・川崎市高津区健康づくりの集いですが、次年度の予定が立たないとの事で未定となっています。昨年のイベントは5月予定が9月に延期になり、その後中止となった為、次年度も秋頃の開催になるかもしれません。</li> </ul> <p>金岩理事) 吉田理事何か追加はありますか。 吉田理事) 特にありません。 大内会長) もしかすると1月以降はコロナ禍の影響で厳しい状況になるかもしれませんが、例年どおりの理学療法士会との合同参加として、どんどん進めて下さい。</p> <p><b>6. 編集委員会</b> <b>津久井理事より報告 P31～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌296号(1月号)の発刊スケジュール調整を行っています。</li> <li>・少しでも早く作業を進めて行きたいとの事で、山王印刷へのデータ受け渡しが1月5日から1月4日に変更となりました。発送は1月31日です。</li> <li>・会誌296号の巻頭言は佐藤監事、コラムは安藤理事になります。本日が原稿締切りとなっています。</li> <li>・役員選挙立候補受付については掲載原稿を頂ければと思います。</li> </ul> <p>津久井理事) 新規入会方法の案内について、ホームページではリニューアルされていますが、会誌でも掲載紹介をしますか。 江川理事) 色々と分かりにくいところの見直しをしています。3月号でお願いします。</p> <p>津久井理事) 会誌 296 号の目次案について、地区だよりは平塚地区以外の原稿入稿がありませんが、1地区でよろしいですか。 松尾理事) 1地区でお願いします。 前原理事) 厚生委員会の令和3年度施設調査の原稿が遅れていますので、3月号の掲載に変更できますか。調査結果 No.1 と No.2 を合わせて6ページを掲載できますか。 津久井理事) 3月号で対応できます。ボリュームも心配なくて大丈夫です。 大内会長) 吉田理事の神奈川県保健衛生表彰の原稿を入れられますか。 津久井理事) 社会貢献者紹介の中で掲載させていただきます。</p> <p><b>7. 広報委員会</b> <b>津久井理事より報告 P33～</b></p>	承認
--	---	----

<p>議題 3 3-1  3-2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会はメールでの会議を随時継続中です。</li> <li>・ホームページのバナーの変更を行っています。「COVID19 情報」から「神奈川県放射線学術大会」に変更し、2 月途中からは「医療の中の放射線」を再掲載する予定です。</li> <li>・ホームページの内容について更新作業を行っています。自然放射線量測定のアイコンは費用が掛かる為、次期リニューアルのタイミングで変更する予定です。</li> <li>・LINE を活用したホームページ新着情報の広報について、安藤理事を中心に担当委員を決定しました。林委員と金澤委員で進めていきます。</li> <li>・広報委員会の集まったの面談方式での開催について、奥村幹事を中心に慎重に検討しています。</li> <li>・ホームページのアクセス数と掲載数についてご確認ください。</li> </ul> <p>大内会長）面談方式の委員会開催ですが状況が変わってきています。次回理事会も WEB 開催を考えていますので、臨機応変に対応をお願いします。</p> <p><b>8. 厚生委員会</b> 前原理事より報告 P35～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面のと通りの報告となります。</li> <li>・令和3年度施設調査について報告書の遅れが出ており申し訳ありません。</li> <li>・令和3年度会員調査についてデータ入力作業中です。</li> <li>・イベント開催について会員調査でのアンケート結果ではあまり人気がありません。ウォーキング大会については 9 月以降の開催、ゴルフ大会は状況を見て、継続して検討していきたいと思えます。</li> </ul> <p><b>9. 災害対策委員会</b> 吉田理事より報告 P37～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール会議を随時行っています。</li> <li>・「災害時の医療救護活動についての協定書」について、神奈川県の出発点と継続協議中です。協定書案について資料を添付しましたのでご確認ください。</li> <li>・神奈川県原子力災害医療実技研修が 1 月 22 日に開催されます。技師会として早瀬委員と吉田理事の 2 名で参加させていただきます。</li> <li>・自然放射線測定結果報告は資料のとおりです。</li> </ul> <p><b>10. 放射線安全管理委員会</b> 渡邊理事より報告 P41</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の開催はありません。</li> <li>・第 19 回神奈川放射線学術大会で放射線安全管理委員会が関連する企画が 2 つ用意されています。</li> </ul> <p><b>審議事項</b> <b>令和4年度事業計画</b> 大内会長より説明 P1～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度事業計画からの変更として、公 1 では隔年開催の第 20 回神奈川放射線学術大会の企画準備があります。公 2 では基礎技術講習会を予定します。公 3 の放射線障害防止啓発事業について文章の再確認をお願いします。来月もう一度提案しますので今回は継続とします。</li> </ul> <p><b>令和4年度予算案</b> 伊藤副会長より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度予算の試算表ですが資料として送付してあります。</li> <li>・提出して頂いた予算案を全部盛り込みましたが、事業が少ない為に収入に対して支出が少なくなり、お金が余ってしまう状態となりました。そこで収入を減らす為に今回入会金の部分を調整しました。前回と同じく入会金 60 万円で予定していたところを、今回初年度入会 2 千円 50 人、通常入会 1 万円 25 人として計 75 人を入会金 35 万円で調整しました。今年度は 11 月末までで 71 人の</li> </ul>	<p>継続</p>
----------------------------------	--	-----------

入会がありました、1万円入会 54人で2千円入会 17人でした。前年度の入会は 53人でしたので、今年度は告示研修のおかげで後半の入会が伸びたと思われま。次年度も多く入会してくると思いますが、入会 75人として収入合計の調整を行いました。

- ・公1として予算案は全部入っています。
- ・公2として学術委員会で古いパソコンを使用しているのでパソコン購入を入れました。減価償却費の為20万円以内で購入して頂けたらと思います。
- ・公3として災害対策委員会のサーベイメータの校正費 14万円を今回盛り込んであります。厚生委員会ではウォーキング大会とゴルフ大会があり、ボウリング大会は入れていません。会員調査もありませんので少し減っていると思います。
- ・最終的に収入に対して支出をゼロにしました。青柳先生に報告し公益認定基準を審査して頂いたところ、公1から公4までの事業はマイナス事業で健全となり、公益比率は56.9%でした。ただ遊休財産の限度額が350万円超過しました。これは昨年一昨年と事業が出来ず技師会に遊休財産が残ってしまったのが理由です。コロナ禍前までは調整した差額が多くても10万円でした。神奈川県に提出する際は使用用途について理由を記載するのですが、今回は対策案を付記して提出したいと思います。また来月の理事会で質問を受けたいと思います。

田島副会長) お金が余っているなら何か買うとかできますか。

伊藤副会長) 公益事業に関わる物なら可能だと思いますが、ただ100万円使用してもまだ250万円残るので同じことだと思います。

田島副会長) これからの変更がまだ可能なのか、あるいはこれで決定として間違いないかを確認するのか、どちらでしょうか。

伊藤副会長) 変更は可能です。

田島副会長) 告示研修としてお金が掛かるかもしれません。公の事業として関わってくると思います。変更が駄目となると調整をお願いする事になるし、まだ変更が可能ならば研修を盛り込んだ予算表を出す必要になります。

伊藤副会長) 事務所の壁紙を張り替えるとか少しずつ使っていくかといけないのかもしれませんが。公の事業で全て使うのは難しくなっていると思います。少し相談させて下さい。

大内会長) 予算案については継続という事で、皆さんご確認下さい。

継続

### 3-3 第19回神奈川放射線学術大会 引地理事より説明 P21～

- ・先日学術大会の資料をメール配布しました。
- ・学術大会実行マニュアルを作成しました。概要を説明します。来年1月23日に日石横浜ホールにて開催し、オンデマンドでの配信を予定しています。大会プログラムとして、12時に開場し受付開始、12時05分から大内会長の挨拶、13時から講演1、講演2、講演3と行います。16時に伊藤副会長の挨拶、閉会となります。150名参加を予定しています。当日の実行委員として、総務委員会、組織委員会、学術委員会、編集委員会から参加頂いて準備運営等を行います。感染予防対策も定められている通り行います。会場レイアウトについて説明します。当日の朝、会場は机と椅子がない状態で迎えます。実行委員で椅子等を運び入れて設営をします。17時までの会場借用の為16時終了後に全員で片付けて撤収となります。予算案の資料も送付していますが、予算50万以内での準備が整っています。

引地理事) 伊藤副会長補足をお願いします。

伊藤副会長) 参加証明書や問診票が一体となった参加登録証明書等の受付関連の準備も済んでいます。会場アナウンスは総務委員2名で予定しています。垂幕と横断幕も山王印刷の納品待ちとなっています。録画録音についてもニュープロダクト社との打ち合わせも終わっています。当日11時に会場入りし設営となります。バックアップとして横浜ソーワクリニックの石井さんにもお願いしています。石井さんには謝礼を用意します。オンデマンド配信は先日テストが終了しています。準備に関してはドラム式コードリールが足りないので30m

	<p>で 5000 円のを技師会で 1 つ購入します。当日の実行委員は総務委員会 6 名、組織委員会 8 名、学術委員会 6 名、理事監事 17 名の予定です。また講師や司会者、録画関係の会社スタッフ等を含めると合計 48 名となります。当日欠席の方はお弁当の発注の関係で年内にお知らせして頂きたいです。お弁当は 50 個注文したいと考えています。当日の会場設営は金岩理事と松尾理事を中心に組織委員で担当してもらいます。感染症対策に配慮した机と椅子の配置にし、垂幕と横断幕も担当してもらいます。当日実行委員の集合時間は 9 時 30 分です。事務所からタクシーで荷物を運びます。大会収支としては現在のところ資料の通りとなっています。またコロナ感染症対策として、マスク着用や手指消毒、片付けの際のアルコール消毒の実施等を会場ホールから通知されています。</p> <p>伊藤副会長) お弁当ゴミの引き取りを考慮して崎陽軒での発注を考えています。年明けすぐの発注締切りです。</p> <p>大内会長) 会場にこれだけの人数が集まって開催ができるかどうか分かりません。お弁当は発注ではなく別の方法を考えた方がよいと思います。</p> <p>引地理事) コロナ禍が進んで会場に 50 名を集めての開催が難しくなるかもしれません。お弁当を予約してではなく、例えばコンビニ弁当でもよいと思います。</p> <p>伊藤副会長) 講師の方も含めたお弁当です。</p> <p>大内会長) お弁当の発注に関しては保留とします。</p>	<p>継続</p>
<p>3-4</p>	<p><b>神奈川県との災害時の医療救護活動についての協定書</b>  <b>吉田理事より説明 P38～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論がかなり進み締結したいと考えています。協定書案に大きな変更がなければ承認を頂きたいので審議をお願いします。</li> </ul> <p>大内会長) この協定書案は神奈川県と何度もやり取りして作りあげたものです。協定を結ぶタイミングは次回理事会で承認を得てからになるかと思いません。皆様何かご意見ありますか。</p> <p>吉田理事) 補足として、神奈川県は知事との締結式とプレスリリースを考えていて、今年度内に実施したいようです。日程を調整して次回理事会には報告できると思います。</p> <p>大内会長) 皆様ご承認頂けますか。承認されましたので、大きな変更なければこのまま進めて下さい。</p>	<p>承認</p>
<p>3-5</p>	<p><b>会費納入規程の見直し</b>  <b>大内会長より説明</b></p> <p>大内会長) 前回理事会で資料を提示しましたが、年齢 60 歳からと年齢 65 歳からの会費減額についての意見がありました。皆様何か意見ありますか。</p> <p>田島副会長) 65 歳案でよいと考えています。会費規定なので頻繁の変更は難しいと思います。今後を考えると 63 歳や 65 歳での定年が見えてきている時代なので現役世代に会費負担してもらおう事が妥当と考えます。再雇用の方は現役ではないのかという意見もありますが、65 歳での減額が一番妥当と考えています。</p> <p>佐藤監事) 最近退会した方々を見ていると 60 歳での退職となっています。名が通っている方も 60 歳で退職されています。この 60 歳定年退職の方々を拾い上げる為にも何か考えた方がよいと思います。会費が半額になれば残ってもらえる引き留めもしやすいかもしれません。ひとつの意見です。</p> <p>大内会長) 他の意見はありますか。</p> <p>田島副会長) 分かりやすい資料を作成して頂きましたが、永年会員の会費納入 10 万円規定を残して頂きたいです。定年になる前のお金がある内にまとめて納入してもらい永年会員に移行してもらおうとの考えでの提案です。</p> <p>大内会長) JART が 65 歳から減額なので、そこに合わせる意味合いもあると思います。また今後財政をひっ迫させないようにする事も考えると JART に合わせる事もよいと思います。</p> <p>大内会長) 多数決で決めたいと思います。</p>	

	<p>大内会長) 65 歳で半額とする案が多数なので、これで理事会承認として進めて行きます。</p> <p>大内会長) 次に先日メールで資料を送りましたが、65 歳半額に関して 10 万円というキーワードがあります。例えば一番早い 22 歳で入会し 30 年在籍した後に 10 万支払うと今後は会費を払わなくてよいという規定があります。これに 40 年在籍した場合も加えてはどうかという田島副会長からの提案がありました。試算をしてみました。現在 45 年在籍で免除という規定がありますが、これに 65 歳で半額と、新たな提案の 40 年在籍で半額を加えると、22 歳の場合 52 歳で 10 万円払うと同じ金額になります。23 歳 24 歳 25 歳で入会した場合でも新しい提案になると 10 万払うのと同じ金額になります。要するに、お得感はないが前払いという形で残してもよいのではないかと、という事です。</p> <p>田島副会長) 現状、30 年在籍で 10 万円払うと以後会費免除、もうひとつは 45 年在籍で会費免除になる、ふたつの永年会員の規定があります。それに対して私が提案するのは、40 年在籍を追加して 40 年から 45 年までの 5 年間を半額にする案です。そうすると金額で言えば同じ 10 万円になります。永年会員になるには 52 歳で 10 万円を払うか 65 歳まで分割して払うかの話になると思います。現行の規定を残しつつ半額を取り入れた案です。これは 30 年以上在籍した方には、10 万円というより在籍 45 年まで会費を納めてもらい永年会員になるという考えです。金額的にはお得感はないですが在籍 45 年までを前払いしたという事になります。お金がある内に払っていただいて、例えば再雇用で 70%給与になったとしても、会費の支払いがないので会員を辞める必要はない、という会員減少を避ける案にもなります。</p> <p>大内会長) 来月までは継続で検討を続けることができますがどうしますか。先ほど 65 歳で半額にする事案は承認されたので、40 年在籍で半額にする案を追加するかどうかを皆さんで考えてみて下さい。私もこの資料を作って初めて把握できましたが、ご意見出ますか。</p> <p>田島副会長) 今回初めて詳細を聞いたと思いますので、来月まで待ってもよいのではないのでしょうか。</p> <p>大内会長) それでは継続とします。次回までよく考えておいて下さい。</p>	承認
<p>3-6</p>	<p><b>その他</b></p> <p><b>JART 会費回収について</b></p> <p>大内会長) 昨日メールを送りましたが、JART から会費回収に関して詳しい資料が来ました。業者はまだ決まっていませんが、定期的に電話やメール等で催促をするという事で契約を取り交わしたいと思います。何かご意見ありますか。</p> <p>伊藤副会長) KART の除籍になる対象者を JART に報告し催促するという事ですか。</p> <p>大内会長) JART は 1 年未納 2 年未納などをデータベースで把握していて JART から行きます。</p> <p>伊藤副会長) この申込みをすれば自動で業者が催促してくれるという事ですね。</p> <p>田島副会長) 回収できた会費の 30%は取られるけれども面倒な催促を業者が行ってくれるという事です。</p> <p>大内会長) 契約しますが、承認よろしいでしょうか。</p> <p><b>告示研修について</b></p> <p>田島副会長) 先週山梨で告示研修会および実技講習会が行われました。参加された方お疲れ様でした。感想から述べるととても大変な事でした。これと同じ研修会を今すぐ神奈川でも実施するかというと、なかなか出来ない状況です。マニュアルもなく、そこまで手が空いてない状況です。そこで提案ですが、告示研修の開催にあたって準備委員会として臨時委員会を立ち上げさせて頂きたいと思います。先日参加したメンバーから委員会のメンバーに合せて行きたいと思います。皆さんのご意見、承認を頂けたらと思います。</p>	<p>継続</p> <p>承認</p>



大内会長) 新しい特別委員会の立ち上げですが、いかがですか。  
田島副会長) 参加された富安理事はどうでしたか。  
富安理事) JART 側から良い資料が出てこないと思われるので、しっかり準備を  
やらないとあまり意味のない研修になるかと思えます。運営や準備方法も教えて  
貰えていない状況ですが、臨時委員会で揉んで準備できればよいと思いま  
す。  
大内会長) ありがとうございます。他にご意見ありますか。研修会を実施する  
為の臨時委員会ですがご承認頂けますか。  
大内会長) 承認という事で、田島副会長を中心に進めて頂きたいと思えます。

承認

大内会長) これで全ての議事が終わりましたが皆さん大丈夫でしょうか。他に  
ないようですので、これで議事を終了します。

以上

令和4年1月28日

会長 大内 幸敏 印

監事 安部 真 印

監事 佐藤 英俊 印